

Oracle.1z0-1077-25.v2025-08-08.q49

| | |
|---|---|
| 試験コード: | 1z0-1077-25 |
| 試験名称: | Oracle Order Management Cloud Order to Cash 2025Implementation Professional |
| 認定資格: | Oracle |
| 無料問題数: | 49 |
| バージョン: | v2025-08-08 |
| アクセス数: | 106 |
| ページビュー数: | 490 |
| https://www.jpnpdf.com/Oracle.1z0-1077-25.v2025-08-08.q49-mondaishu.html | |

最新問題: 1

顧客が特定のビジネスイベントについて自動メール通知の送信を希望しています。「ビジネスイベントトリガーポイントの管理」ページで、どのビジネスイベントトリガーポイントを使用してメール通知を有効にできますか？

- A. 注文ヘッダーのステータス更新と注文属性の更新
- B. 注文ヘッダーのステータスの更新と保留
- C. 順序属性の更新と保持
- D. 変更注文の補償が完了し、保留中
- E. ホールドして分割

Answer: ([解答を表示する](#))

検証済みの回答: A. 注文ヘッダー ステータスの更新と注文属性の更新 簡潔かつ包括的な説明: Oracle Order Management Cloud Order to Cash では、ビジネス イベント トリガーポイントを使用して、特定のイベントの電子メール通知を有効にすることができます。通知をトリガーできるビジネス イベントには、「注文ヘッダー ステータスの更新」と「注文属性の更新」があります¹。販売注文の詳細が変更されたときなど、これらのイベントが発生すると、通知を送信できます²。

：
注文管理でのビジネスイベントの使用の概要
注文管理から他のシステムへの通知送信の概要

最新問題: 2

組織では、複数の条件付き属性を使用して顧客の受注価格を設定しています。Pricing Cloud には、値セットに基づいて価格設定マトリックス上のこれらの属性の値を取得できる機能

があります。値セットを指定するには、価格設定マトリックスまたはマトリックスクラスのドメインタイプ属性を使用します。

この機能でサポートされていない構成はどれですか？

- A. 値セット値を使用して価格設定アルゴリズムを決定します。
- B. 値セット値を使用して価格セグメントを決定します。
- C. 新しい値セットのドメインタイプを条件の一部として使用します。
- D. マトリックス内の値セットの値を使用します。

Answer: ([解答を表示する](#))

値セット値を使用して価格設定アルゴリズムを決定します。

Pricing Cloud では、値セット値を使用して価格設定アルゴリズムを決定することはできません。価格設定アルゴリズムとは、商品またはサービスの価格を計算する定義済みの計算式です。値セット値を使用して、共通の特性と価格設定の好みを持つ顧客のグループである価格設定セグメントを決定することができます。

新しい値セットドメインタイプを条件の一部として使用することもできます。条件とは、価格設定戦略、セグメント、またはマトリックスがトランザクションに適用されるかどうかを評価するルールです。また、マトリックス（1つ以上の属性に基づいて商品またはサービスの価格を定義するテーブル）内の値セットの値を使用することもできます。

:

Oracle Supply Chain Management Cloud: Order to Cash リリース 12 の新機能 Oracle Supply Chain Management Cloud: Order to Cash リリース 12 の新機能 Oracle Pricing Cloud ユーザーズ ガイド

最新問題: 3

サプライヤー チャネル管理では、CSV ファイルからサプライヤー請求書をインポートして、利用可能なリベート発生額を決定することができます。

この機能ではサポートされていない機能はどれですか？

- A. サプライヤー プログラム チェックブックおよびクレームでサプライヤー リベートの発生額を追跡します。
- B. 発注書、品目、請求先および出荷先に基づいて、プログラム チェックブックでサプライヤー プログラムのパフォーマンスを表示します。
- C. サプライヤー部品番号と内部品目番号の関係を動的に作成します。
- D. サプライヤーリベート発生額の調整を作成し、承認します。

Answer: D ([メッセージを残す](#))

サプライヤーチャネル管理は、Oracle Order Management CloudのOrder to Cash機能の一つで、サプライヤーとの関係とプログラムを管理できます。サプライヤーチャネル管理では、CSVファイルからサプライヤー請求書をインポートし、利用可能なリベート発生額を算出できます。この機能により、以下のことが可能になります1。

* サプライヤープログラムチェックブックと請求書で、サプライヤーリベート未払額を追跡できます。インポートした請求書に基づいて計算されたサプライヤーリベート未払額

は、サプライヤープログラムチェックブックで確認できます。また、サプライヤーリベート未払額に対する請求書を作成し、提出することもできます。

* プログラムチェックブックでは、発注書、品目、請求先・出荷先に基づいて、サプライヤープログラムのパフォーマンスを確認できます。プログラムチェックブックでは、サプライヤープログラムのパフォーマンスを監視できます。発注書、品目、請求先・出荷先など、さまざまな基準でデータをフィルタリングできます。

* 仕入先部品番号と社内品目番号の関係を動的に作成します。仕入先部品番号と社内品目番号のマッピングを作成・管理できます。これにより、インポートした請求書と在庫内の対応する品目を照合できます。

ただし、この機能では、サプライヤーリベート発生額の調整を作成して承認することはできません。

調整とは、サプライヤープログラムチェックブックのサプライヤーリベート未払金に手動で変更を加えることです。エラー、紛争、修正など、様々な理由で調整を作成できます。また、他のユーザーが送信した調整を承認または拒否することもできます²。調整を作成および承認するには、インポート機能ではなく、「サプライヤーチャネル管理」作業領域の「サプライヤープログラムチェックブックの管理」タスクを使用する必要があります。

:

仕入先請求書のインポート
調整の作成と承認

最新問題: 4

貴社では、サプライヤーチャネル管理 (CRM) を使用して、プログラムの有効期間全体にわたる累計購入量に基づくリベートを管理しています。これらのプログラムには、サプライヤーリベートとサプライヤー年間リベートが含まれます。

サプライヤー年間リベートとサプライヤーリベートの違いを説明するオプションはどれですか？

- A. サプライヤーの年間リベートは、時間、カテゴリ、またはすべての品目別に製品の適格性をサポートします。
- B. サプライヤーの年間リベートは注文間で累積されます。
- C. サプライヤーの年間リベートは、単一の注文のコンテキストで行われます。
- D. サプライヤーの年間リベートは、単一のトランザクションまたは複数の注文にわたって累積できます。

Answer: B (メッセージを残す)

サプライヤーリベートとサプライヤー年間リベートはどちらも、Oracle のサプライヤーチャネル管理の一部です。

どちらのタイプのリベートも、サプライヤーが購入を促進するために提供するインセンティブですが、その累積方法が異なります。サプライヤーリベートは通常、特定の購入または取引に紐付けられています¹。一方、サプライヤー年間リベートは、特定の期間（通常は1

年間)にわたる複数の注文に累積されます²¹。これにより、組織はプログラムの有効期間中の累計購入量を追跡・管理できます²。

:

Oracle ドキュメント: サプライヤーリベート

Oracle ドキュメント: サプライヤーリベートの仕組み

最新問題: 5

お客様から、既存の発注書に新しい購入依頼を割り当てるという要件がありました。サプライチェーンオーケストレーションでは、新しい注文書を作成する代わりに、未処理の発注書に新しい依頼明細を追加することで、この機能をサポートできます。

この機能をサポートする Oracle アプリケーションは 4 つありますか？

- A. Oracle 注文管理
- B. Oracle チャンネル収益管理
- C. Oracle プランニング
- D. Oracle 製造
- E. Oracle 在庫管理
- F. Oracle Demand Management

Answer: ([解答を表示する](#))

Oracle Order Management、C. Oracle Planning、E. Oracle Inventory Management、F. Oracle Demand Management。これらは、既存の発注書に新しい購買依頼を割り当てる機能をサポートする4つのOracleアプリケーションです。この機能により、サプライチェーン・オーケストレーション (SCO) は、ソースシステムからの供給依頼を処理する際に、新しい発注書を作成する代わりに、オープン発注書に新しい購買依頼明細を追加できます。これにより、発注書の数削減し、調達プロセスの効率を向上させることができます¹。この機能で供給依頼を生成できるソースシステムは次のとおりです。

* Oracle Order Management :これは、受注から入金までのプロセス（注文入力から履行まで）を管理するサービスです。Order Managementを使用すると、直送やバック・トゥ・バック注文など、サプライヤーから調達する品目の販売注文を作成できます²。これらの注文から供給要求が生成され、履行のためにSCOに送信されます。

* Oracle Planning :これは、ミニマックスプランニング、再発注点プランニング、サプライプランニング³など、需給バランスを最適化するための様々な計画手法を提供するサービスです。Planningを使用すると、購買依頼や計画発注など、サプライヤーからの補充が必要な品目に関する計画推奨事項を作成できます。これらの推奨事項に基づいて供給要求が生成され、SCOに送られて履行されます。

* Oracle Inventory Management : 倉庫内および倉庫間の資材フローを管理するサービスです。Inventory Managementを使用すると、転送オーダーや組織間転送など、倉庫間で移動する必要がある品目について、社内資材転送を作成できます。これらの転送により供給要求が生成され、SCOに送られて履行されます。

* Oracle Demand Management :これは、履歴データ、市場動向、顧客行動に基づいて製品またはサービスの需要を予測するサービスです。Demand Managementを使用すると、購買依頼書や計画発注書など、サプライヤーから調達する必要がある品目の需要計画を作成できます。これらの計画に基づいて供給要求が生成され、SCOに送信されて履行されます。

：

既存の注文書に新しい購入依頼を割り当てる
注文管理における注文から入金までの仕組み
計画の概要

[計画推奨事項の作成]

[在庫管理の概要]

【需要管理の概要】

最新問題: 6

出荷元倉庫が「オペレーション」で、フルフィルメント明細のステータスが「記帳済」の場合、フルフィルメント明細の拡張可能フレックスフィールドの更新を禁止する処理制約を設定しました。この制約は作成されていますが、ユーザーがこれらの条件を満たすフルフィルメント明細を更新しても適用されません。

最も可能性の高い原因はどれでしょうか？

- A. 拡張可能フレックスフィールドの「公開」プロセスは実行されませんでした。
- B. 拡張可能フレックスフィールドを「処理制約の管理」ページに表示するには、「レコードセット」を作成する必要があります。
- C. 拡張可能フレックスフィールドが有効になっていません。
- D. 「パッケージの生成」プログラムは送信されませんでした。

Answer: A (メッセージを残す)

処理制約とは、受注から入金までのプロセスのさまざまな段階で、受注またはフルフィルメントラインに加えられる変更を制御するルールです。処理制約は、受注タイプ、フルフィルメントラインのステータス、出荷元倉庫、拡張フレックスフィールド1など、さまざまな属性に基づいて設定できます。拡張フレックスフィールドは、定義済み属性2で提供されない追加情報を取得するために使用できるカスタム属性です。拡張フレックスフィールドに基づいて処理制約を設定するには、

拡張可能フレックスフィールドを作成または変更した後、拡張可能フレックスフィールドの「公開」プロセスを実行してください。このプロセスにより、拡張可能フレックスフィールドが「処理制約の管理」ページ3に表示され、使用可能になります。このプロセスを実行しないと、ユーザーが条件を満たすフルフィルメント明細を更新しても、処理制約は適用されません。

：

処理制約の概要

拡張可能フレックスフィールドの概要

拡張可能フレックスフィールドに基づく処理制約の作成

最新問題: 7

Order Management Cloud で既存の販売注文に修正が加えられましたが、変更注文はトリガーされませんでした。

販売注文の改訂中に変更された属性を識別します。

- A. 販売単価
- B. 希望出荷日
- C. 注文単位
- D. 顧客発注書
- E. 注文数量

Answer: D ([メッセージを残す](#))

最新問題: 8

シードされた倉庫オペレータ ロールが実行できるタスクを識別します。

- A. 倉庫でのピッキングのための販売注文の監視とリリース
- B. ピッキングリストを検索して確認します
- C. 出荷の処理と確認
- D. 出荷書類を生成する
- E. 出庫資材移動用のピッキング資材のピックリストを生成する

Answer: (解答を表示する)

倉庫オペレーターは次の作業を行います。

ピッキング活動の監視と実行を含む荷物のピックアップ、および出荷、補充、要求のピッキング スリップの作成。

ピッキング スリップを検索し、1回の操作でピッキング スリップを確認します。

最新問題: 9

Configurator Cloud では、制約定義言語内の明示的なステートメントを最も適切に定義する応答はどれですか。

- A. ルール定義内の複数のステートメントは、カンマ (,) で区切る必要があります。
- B. 反復子ステートメントでは、コレクション上の 1 つ以上の反復子にバインドされたローカル変数を使用できます。
- C. 明示的なステートメントは、明示的に識別された参加者間の関係を表現し、ルールの実行をそれらの参加者とそれらの参加者を含むモデルに制限します。
- D. 暗黙的なステートメントでは、モデル構造内の場所を指定して、ルールに参加する各ノードと属性を識別する必要があります。

Answer: C ([メッセージを残す](#))

制約定義言語 (CDL) は、Configurator Cloud でコンフィギュレータルールを作成するために使用する言語です。CDL は、明示的なステートメントと暗黙的なステートメントの 2 種類のステートメントをサポートしています。明示的なステートメントは、ルールに適用されるノードと属性を正確に指定し、ルールの適用範囲をそれらのノードと属性、およびそれら

を含むモデルに限定するステートメントです。明示的ステートメントでは、モデル構造 1 におけるノードと属性の位置を識別するためにドット (.) 表記が使用されます。例えば、次のルールは明示的ステートメントです。

Model1.Feature1.Option1 は Model1.Feature2.Option2 を意味します

このルールは、Model1でFeature1のOption1が選択されている場合、Model1でFeature2のOption2も選択する必要があることを意味します。このルールはModel1とそのノードおよび属性にのみ適用されます。

:

制約定義言語の概要

最新問題: 10

販売注文の処理中に関係する Oracle Management Cloud コンポーネントの順序を識別します。

- A. 外部ソースシステム、注文入力、オーケストレーション、タスク層サービス、外部インターフェース層
- B. 外部ソースシステム、注文入力、オーケストレーション、外部インターフェース層、タスク層サービス
- C. 外部ソースシステム、内部システム、オーケストレーション、タスク層サービス、外部インターフェース層
- D. 注文入力、オーケストレーション、タスク層サービス、外部インターフェース層

Answer: D ([メッセージを残す](#))

最新問題: 11

BI サブジェクト領域を使用して Excel、Word、または PowerPoint でアドホック レポートを作成できるレポート ツールはどれですか。

- A. BIアンサー
- B. BIコンポーザー
- C. SmartView統合
- D. eTextレポートレイアウトテンプレート

Answer: ([解答を表示する](#)**)**

SmartView統合は、BIサブジェクトエリアを使用してExcel、Word、またはPowerPointでアドホックレポートを作成できるレポートツールです。BIサブジェクトエリアは、レポートや分析の作成に使用できるビジネス指標と属性を含む、定義済みのデータセットです。SmartView統合により、Microsoft Officeアプリケーション内からBIサブジェクトエリアにアクセスし、それらのアプリケーションの使い慣れた機能を使用してレポートを作成およびフォーマットできます1。

:

SmartView統合の概要

最新問題: 12

Oracle Contract Manufacturing は、計画から生産までとバックツーバックの履行のフローをサポートします。

Back-to-Back フローのパラメータ設定として同期が維持されるドキュメントはどれですか？

- A. 作業指示書、計画指示書、受注書
- B. 作業指示書、購買注文書、販売注文書
- C. 作業指示書と発注書
- D. 作業指示書と販売注文書

Answer: ([解答を表示する](#))

Oracle Contract Manufacturingは、Oracle Order Management CloudのOrder to Cash機能の1つで、製造業務をサードパーティのサプライヤーにアウトソーシングできます。Oracle Contract Manufacturingは、Plan-to-ProduceとBack-to-Backフルフィルメントの2種類のフローをサポートしています1。Back-to-Backフルフィルメントフローでは、サプライヤーは事前の計画なしに、顧客の需要に基づいて供給を作成します。Back-to-Backフルフィルメントフローには、作業指示書、購買発注書、および受注書の3つの文書が含まれます2。これらの文書は、Back-to-Backフローのパラメータ設定として同期されています。つまり、1つの文書に加えられた変更や更新は他の文書にも自動的に反映され、データの一貫性と正確性が確保されます3。

:

契約製造の概要

バックツーバックフルフィルメントの概要

バックツーバック供給創出フロー

最新問題: 13

機能設定マネージャのオーケストレーション プロセス構成でステータスを設定するために使用される 2 つのタスクを特定します。(2 つ選択してください。)

- A. ステータス値の管理
- B. オーケストレーションプロセスの管理
- C. タスクステータス条件の管理
- D. オーケストレーションステータスの管理

Answer: ([解答を表示する](#))

最新問題: 14

顧客から注文管理作業領域の変更を依頼されています。タブレイアウトの変更と属性の非表示化を希望しています。この要件と管理者が行えるカスタマイズについて、正しい記述はどれですか？

- A. 管理者はコンテンツの追加とタブレイアウトの変更のみ可能です。属性を非表示にすることはできません。
- B. 管理者は属性を非表示にすることしかできず、タブのレイアウトを変更することはできません。

- C. 管理者は、注文管理作業領域内の何もカスタマイズできません。
- D. 管理者はタブのレイアウトを並べ替えたり、属性を非表示にしたり、列とパネルのデフォルトの幅を変更したりできます。
- E. 管理者はタブのレイアウトを変更したり、属性を非表示にしたり、リンクなどのカスタム コンポーネントを追加したりできます。

Answer: A (メッセージを残す)

最新問題: 15

価格戦略を作成しましたが、ステータスがまだ「進行中」と表示されていることに注意してください。

ステータスを「承認済み」に変更するには、どのようなアクションを実行すればよいですか？

- A. 承認ライフサイクルの承認者は、戦略を確認して承認する必要があります。
- B. まず、価格戦略を価格セグメントに割り当てる必要があります。
- C. まず、価格戦略に割引リストを追加する必要があります。保存すると、価格戦略に承認済みと表示されます。
- D. 価格戦略を保存する必要があります。
- E. [承認] ボタンをクリックする必要があります。

Answer: E (メッセージを残す)

価格戦略のステータスを「進行中」から「承認済み」に変更するには、価格戦略の編集」ページで「承認」ボタンをクリックする必要があります。承認」ボタンは、価格戦略が完了し、有効な場合にのみ有効になります。価格戦略は、少なくとも1つの価格セグメントと1つの価格設定ルールが含まれている場合、完了となります。価格戦略は、エラーや競合がない場合、有効となります¹。承認」ボタンをクリックすると、価格戦略が承認のために送信されます。承認プロセスは、価格戦略に定義した承認ライフサイクルによって異なります。承認ライフサイクルには、価格戦略を承認または拒否できる1人以上の承認者を含めることができます。価格戦略がすべての承認者によって承認されると、ステータスは「承認済み」に変わり、価格戦略が有効になります²。

：

価格戦略を変更する方法
価格戦略の承認方法

最新問題: 16

注文オーケストレーション構成が完了した後にオーケストレーション プロセスをアクティブ化するには、オーケストレーション プロセス ユーザー インターフェイスでどのアクションを実行する必要がありますか？

- A. 生成されたオーケストレーション プロセスをダウンロードします。
- B. オーケストレーション プロセスを検証します。
- C. オーケストレーション プロセスを解放します。
- D. オーケストレーション プロセスをリリースしてデプロイします。

Answer: ([解答を表示する](#))

<https://docs.oracle.com/en/cloud/saas/supply-chain-management/r13-update17d/faiom/setting-up-orchestration-processes.html#FAIOM1702198>

有効な **1z0-1077-25** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい 1z0-1077-25 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **1z0-1077-25** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com 1z0-1077-25 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com 1z0-1077-25 問題集をゲットする人はこちら：

<https://www.goshiken.com/Oracle/1z0-1077-25-mondaishu.html> (**15230%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 17

あなたの会社には、注文が割り当てられたときに顧客を変更する変更コストポリシーがあり、商品がステージングされた後は変更が許可されません。

販売注文数量が変更された場合、どの履行ステータスで補償がトリガーされ、顧客に料金が課せられますか？

- A. バックオーダー
- B. リリース準備完了
- C. 倉庫にリリースされました
- D. ステージング済み

Answer: B ([メッセージを残す](#))

https://docs.oracle.com/cd/E51367_01/scmop_gs/FAOFO/F1433056AN132D9.htm

最新問題: 18

組織では、通常は割合設定によって自動的に管理される品目の配賦において、数量と金額を手動で指定することが頻繁に必要になります。Global Order Promising RESTサービスのオプションを使用すると、配賦割合を特定の数量で上書きできるため、この要件を満たすことができます。

この機能により、組織はどの間隔で複数のレベルにわたって割り当てられた供給を上書きできますか？

- A. 毎日
- B. 毎週
- C. ユーザー定義
- D. すべてのオプション
- E. 毎月

Answer: B ([メッセージを残す](#))

グローバルオーダー納期回答RESTサービスを使用すると、組織は割当ノードに割り当てられた供給の割合を、特定の数量で上書きできます。この機能は、短期的なフルフィルメン

ト要件を満たす場合に特に便利です。上書きは、週1に割り当てられた供給の総量に適用されます。

:

Oracle Fusion Cloud Order Management 23A 新機能概要2

REST API を使用して割り当て率を調整する1

最新問題: 19

「リードタイム」モードに当てはまる 4 つのステートメントはどれですか？

- A. リードタイムは、組織全体で同じ方法を使用して構成する必要があります。
- B. オーダー約束エンジンはペギングを生成しません。
- C. 在庫状況に関係なく、アイテムは要求された日付に配送されることが約束されています。
- D. リードタイムは複数の方法で指定できます。
- E. カレンダーと移動時間の制約が尊重されます。
- F. 供給可用性の検索は実行されません。

Answer: B,C,D,F (メッセージを残す)

「リードタイム」モードは、Oracle Order Management Cloudの受注から入金までがサポートする2つの納期回答モードの1つです。このモードでは、受注納期回答エンジンは、実際の供給状況や需要を考慮せずに、事前定義されたリードタイムを使用して販売注文を納期回答します1。このモードには以下の記述が適用されます。

* オーダー納期回答エンジンはペギングを生成しません。ペギングとは、供給要素と需要要素をリンクして、それらの関係を示すプロセスです。「リードタイム」モードでは、オーダー納期回答エンジンは利用可能な供給を検索したり、それを需要に割り当てたりしないため、ペギングは発生しません2。

* 商品は、在庫状況に関わらず、要求日に約束されます。オーダー・プロミス・エンジンは、リードタイム期間内であれば、要求日に商品を約束します。リードタイム期間とは、現在の日付からリードタイムに基づいて商品を約束できる最も遅い日付までの期間です。オーダー・プロミス・エンジンは、在庫またはサプライチェーン1における商品の実際の在庫状況を確認しません。

* リードタイムは複数の方法で指定できます。注文約束エンジンは、輸送リードタイム、処理リードタイム、ユーザー定義リードタイム、累積製造リードタイムなど、さまざまな種類のリードタイムを使用して販売注文を約束できます。リードタイムは、品目、ソースの場所、宛先の場所、およびその他の要因によっても異なります。

* 供給可用性の検索は行われません。「リードタイム」モードでは、オーダー納期回答エンジンは供給可用性の検索を行いません。受注の納期回答には、事前定義されたリードタイムのみを使用します。このモードは、供給可用性が制約条件とならない、またはサプライチェーンが安定しており予測可能なシナリオに適しています1。

:

リードタイムベースの約束モードが約束を決定する方法

ペギングの概要

注文管理における注文から入金までの仕組み

最新問題: 20

供給注文を作成するために、プロセス サプライ チェーン オーケストレーション インターフェイス プロセスを手動で実行する必要があるプロセスはどれですか。

- A. 計画オーダーリリース
- B. 直送
- C. バックツーバック調達
- D. バックツーバック契約製造
- E. 購入リクエストの補充における最小最大計画

Answer: E (メッセージを残す)

在庫MINMAXの場合は手動で実行する必要があります

最新問題: 21

ネット チェンジ コレクションを説明する 2 つの文はどれですか。(2 つ選択してください。)

- A. 計画データ リポジトリを完全に更新します。
- B. 選択したエンティティのデータが計画データ リポジトリから削除されます。
- C. 変更されたデータのみを計画データ リポジトリに収集します。
- D. 選択したエンティティのデータが計画データ リポジトリ内で置き換えられます。
- E. 計画データ リポジトリに増分的にのみデータを収集します。

Answer: A,E (メッセージを残す)

最新問題: 22

貴社では、注文の受付にOrder Management Cloudを使用しており、注文処理のために従来の在庫管理アプリケーションと連携しています。注文処理リクエストを集約し、外部の在庫管理アプリケーションに送信する必要があります。

リクエストを集約するにはどのような手順を実行しますか？

- A. 出荷タスクレイヤーを使用して新しいカスタム タスクを作成します。
- B. フルフィルメント タスク レイヤーを使用して新しいカスタム タスクを作成します。
- C. サプライ タスク レイヤーを使用して新しいカスタム タスクを作成します。
- D. 時間制限または行の合計数に基づいて集計基準を使用して、フルフィルメント タスクルーティング ルールを構成します。

Answer: D (メッセージを残す)

https://docs.oracle.com/cd/E56614_01/scmop_gs/FAOFO/F1171442AN11B74.htm

最新問題: 23

Oracle Transaction BI Answers 内で、分析エディタを使用して実行する 2 つのタスクはどれですか。

- A. 通知イベントの設定
- B. 基準の設定
- C. BIカタログへのレポートの公開
- D. トランザクションテーブル内のデータの更新
- E. プロンプトとフィルターの作成

Answer: B,E ([メッセージを残す](#))

最新問題: 24

あなたの会社では、レガシー システムからインポートされた販売注文をクラウドに変換する必要があります。

インポートされた注文を変換するために使用される特定のルールを決定する Oracle Business Rule コンポーネントはどれですか。

- A. ルール条件
- B. 事実
- C. ルールアクション
- D. ルール辞書

Answer: ([解答を表示する](#))

ルール条件は、インポートされた注文を変換するために使用される特定のルールを決定する Oracle Business Rule コンポーネントです。Oracle Business Rules は、注文の変換、注文のオーケストレーション、注文の承認などのアプリケーションまたはプロセスの動作を定義する一連のロジック文です¹。ルールは、条件とアクションの 2 つの部分で構成されます。ルール条件は、注文属性、注文明細、注文ステータスなどの入力データに基づいて true または false に評価される文です。ルール アクションは、ルール条件が true の場合に注文属性の更新、注文明細の作成、注文ステータスの変更など、特定のタスクまたは操作を実行する文です²。「注文変換ルールの管理」タスクを使用して、インポートされた注文をレガシー システムから Oracle Order Management Cloud³ に変換するためのルール条件とアクションを定義できます。

:

注文管理におけるビジネスルールの使用の概要

Oracle ビジネスルール

注文変換ルールの管理

最新問題: 25

不足額の支払請求を作成したいのですが、正しい手順は何ですか？

- A. 控除請求の作成 > 不足額の支払の受領 > 請求の確認と調査 > 不足額の支払の作成と適用
- B. 不足金の受け取り > 控除請求の作成 > 請求の確認と調査 > クレジットメモまたは超過支払いの作成と適用
- C. 請求の確認と調査 > 不足額の支払の受領 > 控除請求の作成 > クレジットメモまたは過払いの作成と適用

D. クレジットメモまたは過払いの作成と適用 > 控除請求の作成 > 不足額の支払いの受領
> 請求の確認と調査

Answer: B (メッセージを残す)

不足支払いの受領 > 控除請求の作成 > 請求の確認と調査 > クレジットメモまたは過払いの作成と適用 これは、不足支払いの請求を作成するための正しい手順です。不足支払いとは、割引、控除、紛争などのさまざまな理由により、請求書の金額よりも少ない支払いです。1. 不足支払いの請求を作成するには、次の手順に従う必要があります2.

* 不足金受領：顧客から支払いを受け取り、その一部を請求書に充当します。これにより、請求書に未払残高が発生します。

* 控除請求の作成：請求額と支払額の差額について、控除請求を作成します。控除の理由と根拠を指定し、必要な書類を添付できます。

* 請求の確認と調査：請求を確認し、不足額の原因を調査します。顧客または社内部門に連絡して、請求の妥当性を確認し、問題を解決します。

* クレジットメモまたは過払い金の作成と適用：請求書の未払い残高を決済し、請求を決済するために、クレジットメモまたは過払い金を作成します。クレジットメモとは、顧客の未払い金額を減額するマイナスの請求書です。過払い金とは、請求書金額を超える支払いで、将来の請求書に充当できます。

:

短期支払い

請求書関連の短期支払控除の作成と決済方法

最新問題: 26

Global Order Promising のスタンドアロン作業領域を使用して実行できるアクティビティは2つありますか?(2つ選択してください。)

A. 販売注文明細に対して数量を分割して、what-if シミュレーションを実行し、注文を約束するより良い方法を評価できます。

B. 出荷予定日が遅れている明細の履行を迅速化するために、連続受注を開始できます。

C. より迅速な履行のために、Available-to-Promise オプションの代わりに Capable-to-Promise オプションをシミュレートできます。

D. すでにスケジュールされている注文明細を再スケジュールできます。

Answer: A,D (メッセージを残す)

最新問題: 27

Oracle Cloud Configurator の機能について正しい記述はどれですか?(2つ選択してください。)

A. Oracle Fusion Product Hub へのアクセス権を持たないユーザー向けに、Oracle ではワークスペース領域で直接モデルを作成する代替オプションを提供しています。

B. 製品ハブからコンフィギュレータには、製品アイテムのオプションの構造と属性のみがインポートされます。必須要素はエンドユーザーが構成できないため、インポートされません。

C. 同じモデルの複数のドラフトを同時に変更できますが、それらは異なるワークスペースにある必要があります。

D. ユーザーインターフェースページはモデルと密接に関連しています。モデル構造に影響を与えずにページを追加、削除、または並べ替えることはできません。

Answer: B,C (メッセージを残す)

コンフィギュレータ モデルは、Oracle Fusion Product Hub（製品情報管理作業領域からアクセス）で管理されている、構成タイプが「モデル」の品目からインポートされます。製品品目の必須要素はエンド ユーザーによって構成できないため、オプションの構成と属性のみがインポートされます。各モデル品目のオプション区分とオプションの標準品目もインポートされます。

コンフィギュレータ モデルはバージョン管理されたオブジェクトです。モデルは、一連のバージョンでリリースされる前に、複数のドラフトを経ることがあります。

同じモデルの複数のドラフトを同時に変更することは可能ですが、それらは異なるワークスペースに存在する必要があります。別のワークスペースに別のドラフトが存在する場合、モデルをワークスペースに追加すると、通知メッセージが表示されます。有効開始日が同じモデルのリリース済みバージョンは1つだけです。

最新問題: 28

注文管理は、変更管理機能を利用して、受注の更新がフルフィルメントラインを通じてどのように実行されるかを決定します。この機能を実行するために、オーケストレーションプロセス定義で変更管理属性を指定できます。変更モード設定は、プロセス状態のスナップショットを取得する頻度を決定します。

有効な変更モード設定ではないオプションはどれですか？

- A. 上級
- B. シンプル
- C. なし
- D. ステージング

Answer: D (メッセージを残す)

最新問題: 29

会社にはBU1とBU2という2つの事業部門があります。それぞれに倉庫（W1とW2）が関連付けられています。W1は必要な資材を連結会社間請求書とともにW2に転送しました。資材を受け取ったW2は、資材に欠陥があることに気づき、倉庫で廃棄することにしました。これはW1に返送するよりも費用対効果が高いからです。しかし、BU2は、資材に欠陥があり消費されなかったため、BU1に既に支払われた請求額に対して、BU1からのクレジットを請求します。

このビジネス要件に対応するには、どのようなアクションを実行する必要がありますか？

- A. 財務オーケストレーションの財務オーケストレーション フローの作成ユーザー インターフェイスで、チェック ボックス「物理的な材料の返品が必要」を選択解除します。

- B. 返品管理ユーザー インターフェイスを使用して、転送オーダーに対して会計のみの返品を実行します。
- C. W2 から W1 への会計のみの返品タイプの転送オーダーのスプレッドシートのアップロードを実行します。
- D. 財務オーケストレーションのドキュメントおよび会計ルールの作成ユーザー インターフェイスで会計ルールを作成します。

Answer: B (メッセージを残す)

物理的な材料の返品は返品管理で利用可能であり、会計にのみ使用されます。

最新問題: 30

顧客は、Oracle Integration Cloud Service と Order Management を使用してビジネスイベントを通信したいと考えています。ステップを実行する正しい順序を示すオプションを選択してください。

- A. ビジネス イベントのトリガー ポイントを管理し、統合を作成し、接続を作成し、ビジネス イベントを追跡します。
- B. ビジネス イベントのトリガー ポイントを管理し、接続を作成し、統合を作成し、ビジネス イベントを追跡します。
- C. ビジネス イベントを追跡し、ビジネス イベントのトリガー ポイントを管理し、統合を作成します。
- D. Oracle Integration Cloud サービスを Order Management と併用してビジネス イベントを通信することはできません。
- E. 統合を作成し、接続を作成し、ビジネス イベントを追跡します。

Answer: B (メッセージを残す)

最新問題: 31

貴社では、高度に特殊化された複数の種類の顧客注文を処理しており、これらの多様な注文タイプに対応するために、複数の種類のコンフィギュレータフレームワークを作成する必要があります。Configurator Cloud の実装と保守の一環として、ワークスペースを頻繁に使用することになります。

ワークスペースについて正しい記述はどれですか？

- A. ワークスペースを作成するときに有効日を指定する必要があります。
- B. ワークスペースの名前と説明の両方を編集できます。
- C. ワークスペースの説明は編集できますが、名前は編集できません。
- D. ワークスペースを作成する際、名前は一意である必要があります。
- E. モデルをワークスペースに追加するには、まずモデルを変更する必要があります。

Answer: A,B,D (メッセージを残す)

ワークスペースは、1 つ以上のモデルとそれに関連付けられたユーザー インターフェイス、ルール、およびデータを保持するコンテナです。

ワークスペースを使用すると、Configurator Cloud1 でコンフィギュレータフレームワークの複数のバージョンを作成および管理できます。ワークスペースについて、以下の記述は正しいです。

* ワークスペースを作成するときに有効日を指定する必要があります。有効日によって、ワークスペースがアクティブになり使用可能になる日付が決まります。有効日には過去、現在、または未来の日付を指定できます²。

* ワークスペースの名前と説明の両方を編集できます。ワークスペースが別のユーザーによってロックされていない限り、いつでもワークスペースの名前と説明を変更できます。名前は、Configurator Cloud インスタンス 2 内で一意である必要があります。

* ワークスペースを作成する際、名前は一意である必要があります。Configurator Cloud インスタンスにすでに存在する名前で作成することはできません。名前は英数字である必要があり、スペースと特殊文字を含めることができます²。

:

ワークスペースの概要

ワークスペースを作成する

有効な **1z0-1077-25** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい 1z0-1077-25 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **1z0-1077-25** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com 1z0-1077-25 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com 1z0-1077-25 問題集をゲットする人はこちら：

<https://www.goshiken.com/Oracle/1z0-1077-25-mondaishu.html> (**15230%OFF**問題集溶

と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: **32**

世界的な電力システムメーカーである同社は、自社のオンラインポータルを通じて無停電電源装置 (UPS) 製品を販売しています。競争優位性を獲得するため、同社はオンライン販売ポータル上のガイド付き販売オプションを通じて、ハイエンドUPSモデルの顧客が希望する構成を選択できるようにしたいと考えています。

同社の製品開発チームは機能強化を完了しており、Oracle Cloud Configurator でサポートされているオンライン販売ポータルにその機能を実装するためにあなたの協力が必要です。

購入者のエクスペリエンスを向上させるために、Oracle Cloud Configurator で実行する 4 つのアクションは何ですか? (4 つ選択してください。)

- A. 有効な構成が確定したら、モデルのチェックアウト オプションを有効にできます。
- B. 期待される製品機能が提供されていない場合、購入者がリクエストを提出できるようにすることができます。
- C. モデル アイテムのインポートされた構成可能な構造を補足するモデル構造の拡張機能を作成できます。

- D. 編集集中にいつでも、構成されたモデルの動作をテストできます。
- E. コンフィギュレータ モデルで選択されたオプションに基づいて、ユーザーに動的に表示されるユーザー インターフェイスを作成できます。
- F. 有効なモデルを作成するためにユーザーをガイドするルールを作成できます。
- G. 以前に同じ構成を購入した顧客の製品レビューを表示できます。

Answer: A,C,E,G ([メッセージを残す](#))

最新問題: 33

アイテムベースのモデル構造をコンフィギュレータ モデリング環境にインポートしましたが、コンポーネント属性の1つに最小値が正しく割り当てられていないことに気付きました。

この問題を解決するには、リリース前に何をすべきでしょうか？

- A. モデルの詳細の「アイテム属性」タブのコンフィギュレータ モデリング環境で変更を行います。
- B. 製品ハブまたはコンフィギュレータ モデリング環境で変更を加えると、すべての変更が他の領域に自動的に反映されます (つまり、コンフィギュレータ モデリング環境での変更は製品ハブに表示され、その逆も同様です)。
- C. アイテムのユーザー定義属性を変更することはできません。
- D. 製品ハブで変更を加え、アイテムベースのモデル構造のスナップショットを更新します。
- E. アイテムベースのモデル構造をインポートした後、変更を加えるにはリリースされるまで待つ必要があります。

Answer: ([解答を表示する](#))

モデルの詳細の「アイテム属性」タブのコンフィギュレータ モデリング環境で変更を行います。

リリース前に、モデルの詳細の「品目属性」タブにあるコンフィギュレータ モデリング環境で変更を加えることで、コンポーネント属性の1つに誤った最小値があるという問題を解決することができます。

品目属性は、品目ベースのモデルまたはそのコンポーネントに追加して、追加情報を取得したり、構成プロセスを制御したりできるユーザー定義の属性です¹。製品ハブから品目ベースのモデル構造をインポートした後、コンフィギュレータ モデリング環境で品目属性を変更できます²。モデルの詳細の「品目属性」タブで、コンポーネント属性の最小値を変更できます³。

:

アイテム属性

アイテムベースのモデルをコンフィギュレータにインポートする

アイテム属性の変更

最新問題: 34

トランザクション品目属性が製品の変換に使用される変換タイプを特定します。変換は、既存の製品に追加されるか、CTO品目の受注書に記載されている製品を置き換えることができます。

- A. 製品への属性
- B. 製品から製品へ
- C. コンテキストから製品へ
- D. 属性から属性へ

Answer: A (メッセージを残す)

属性から製品への変換では、トランザクション属性を使用して属性を品目番号に変換します。既存の品目に変換を追加したり、ソース注文が参照する品目を置き換えたりすることができます。

あなたの会社が、カラー属性とサイズ属性を含むMP3プレーヤーの受注を受け、商品番号を参照するためにこれらの属性の組み合わせを使用する必要があるとします。次の例では、変換ルールによって、Mini Plus商品のカラー属性とサイズ属性がVIS481商品に変換されます。Order Managementの注文明細にはVIS481が表示されます。

最新問題: 35

あなたの顧客はノートパソコンの販売業を営んでいます。

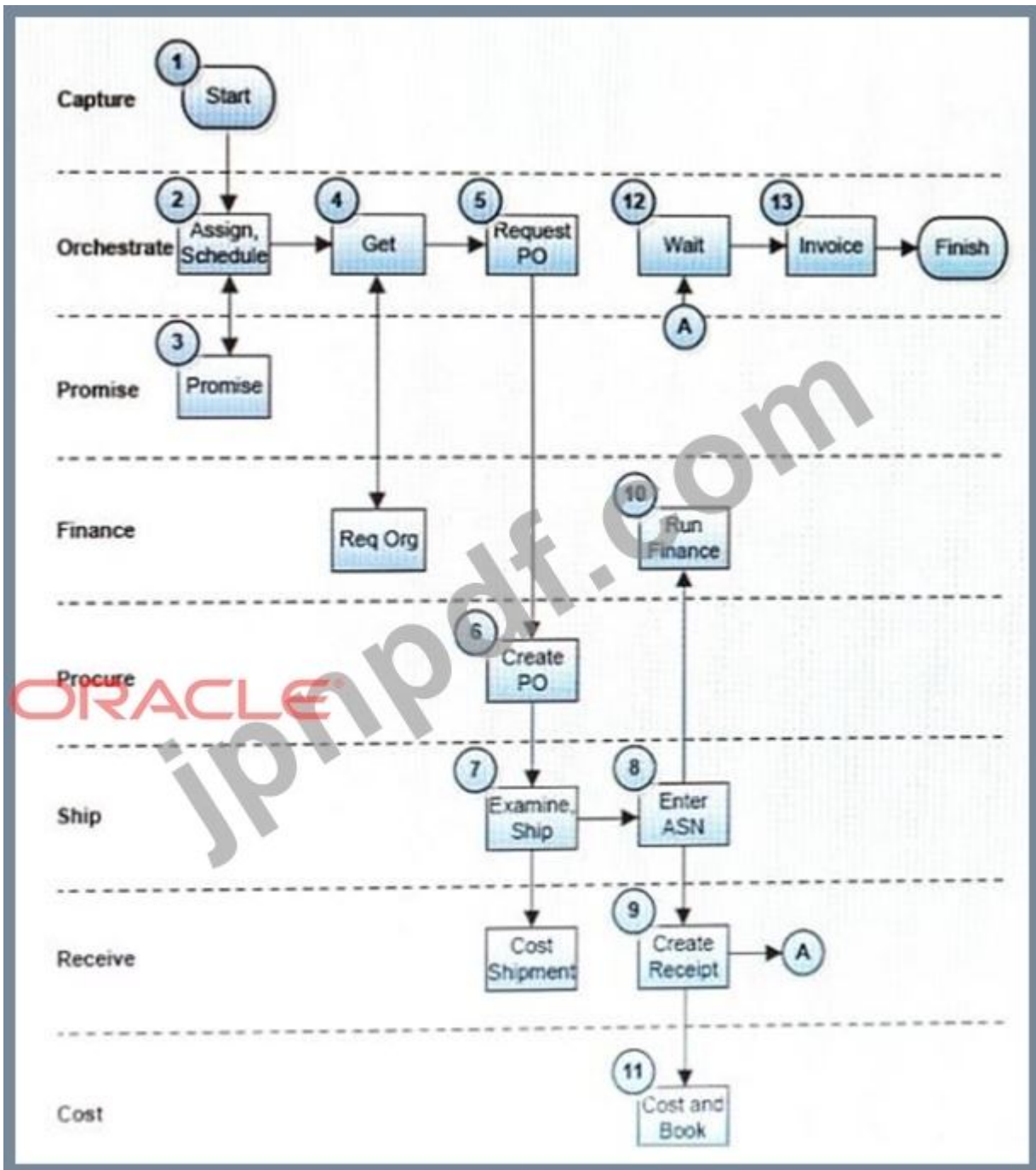
顧客の顧客価格設定プロファイルを設定するときを使用できるシード済みの価格設定属性はどれですか (3 つ選択してください)。

- A. 売掛金回収日数
- B. 顧客の信用限度額
- C. 顧客評価
- D. 提供コスト
- E. 顧客価値

Answer: C,D,E (メッセージを残す)

最新問題: 36

下の図にはどのようなフローが描かれているでしょうか？



- A. ドロップシップ
 - B. 背中合わせ
 - C. 委託注文
 - D. 内部転送
 - E. 注文に応じて構成する
- Answer: A (メッセージを残す)**

最新問題: 37

サプライヤーチャネル管理は、取引先品目関係に基づく多くのビジネスフローをサポートしています。どのフローがサプライヤー品目の使用をサポートしていますか？

- A. 手動で請求書を作成する場合
- B. 交渉を作成するとき

C. サプライヤーサイトを作成するとき

D. 手動調整を作成する場合

Answer: B (メッセージを残す)

ネゴシエーションとは、サプライヤーとの見積依頼 (RFQ) やオークションの作成と管理を可能にするビジネスフローです。ネゴシエーションでは、サプライヤーが販売をオファーする品目であるサプライヤー品目を使用できます。サプライヤー品目を使用することで、複数のサプライヤーからのオファーを比較し、基準1に基づいて最適なものを選択できます。

:

交渉の概要

最新問題: 38

あなたのクライアントは携帯電話プロバイダーです。顧客はまず携帯電話を購入し、その後データプランを選択する必要があります。

お客様から、携帯電話端末の料金を即時に請求し、データプランの料金はプラン期間 (1年間) 中月単位で請求するという料金設定を定義するという要件をいただきました。あなたはPricing Cloudにおいて、この料金設定プログラムの管理者となります。

これらの料金の価格表はどのように設定すればよいでしょうか?

A. 販売価格の価格設定定義を持つ2行

B. 1行目には販売価格の価格設定の定義、もう1行には定期販売価格の価格設定の定義

C. 定期販売価格の価格設定定義を持つ2行

D. 1回限りの価格設定が定義された2行

E. サービス料の料金定義を持つ2行

F. 1行目には「ランタイム価格」の価格定義、もう1行には「サービス料金」の価格定義

Answer: (解答を表示する)

最新問題: 39

お客様は、Configure to Orderアプリケーションを使用して、新しいタブレットの注文プロセスをお客様にご案内します。選択フローの一環として、お客様がワイドスクリーンディスプレイを選択した場合、フロントカメラオプションはご利用いただけません。

これを実施するためにクライアントが使用する必要がある2つのConfiguratorモデルコンポーネントはどれですか?

A. コンフィギュレートルール

B. 逆積の規則

C. ユーザーパラメータ

D. モデル構造

Answer: (解答を表示する)

顧客がワイドスクリーンディスプレイを選択した場合にフロントカメラオプションを利用できないという要件を強制するには、クライアントはコンフィギュレートルールとモデル構造という2つのコンフィギュレータモデルコンポーネントを使用する必要があります。コ

ンフィギュレートルールは、製品またはサービスの有効かつ実現可能な構成を定義するロジックと制約です。モデル構造は、顧客が選択できる機能とオプションを階層的に表現したものです¹。コンフィギュレートルールとモデル構造を使用することで、クライアントはワイドスクリーンディスプレイ機能が選択された場合にフロントカメラオプションを非表示または無効にする条件式を作成できます。

:

コンフィギュレータモデルの概要

最新問題: 40

あなたの会社では、販売注文を管理するために Order Management Cloud を実装していますが、フルフィルメントはサードパーティロジスティクス (3PL) を通じて行われます。販売注文のピッキング、リリース、出荷の準備ができていることを 3PL システムに伝えるには、どのようなプロセスを実行する必要がありますか？

- A. 出荷管理インターフェース
- B. 出荷を作成する
- C. 出荷の確認
- D. 出荷リクエストの生成
- E. 出荷通知を送信する

Answer: D (メッセージを残す)

http://docs.oracle.com/cloud/latest/scmcs_gs/FAIMS/FAIMS1796462.htm#FAIMS2605728

最新問題: 41

外部ソース システム コネクタを定義するためにシステム管理者が実行する必要がある注文管理構成セットアップを識別します。

- A. コネクタ サービスは、Web サービスの管理を使用して登録する必要があります。
- B. ソース システムを Manage Web Service に登録する必要があります。
- C. ソース システムは、Cloud Order Management の Web サービスを使用して呼び出す必要があります。
- D. ソース システム リンクを Manage Web Service に登録する必要があります。

Answer: A (メッセージを残す)

最新問題: 42

サプライチェーン組織では、社内の発注移動活動に関する重要なプロジェクト情報を管理する必要があります。サプライチェーンオーケストレーションでは、ファイルベースのデータインポートテンプレートを使用して、転送オーダーのプロジェクト属性を更新できるようになりました。

プロセスの正しい順序はどれですか？

- A. SCO はプロジェクト会計トランザクション制御 (PATC) を実行します。SCO は、インポートされていないプロジェクト属性のデフォルト値を取得します。SCO は、転送注文のために検証された属性を在庫管理に送信します。

在庫管理は、新しい属性を使用して転送注文を更新します。

B. SCO はプロジェクト会計トランザクション制御 (PATC) を実行します。

在庫管理は、新しい属性を使用して転送注文を更新します。

SCO は、インポートされていないプロジェクト属性のデフォルト値を取得します。

SCO は、転送注文のために検証された属性を在庫管理に送信します。

C. SCO はインポートされていないプロジェクト属性のデフォルト値を取得します。

SCO はプロジェクト会計トランザクション制御 (PATC) を実行します。

SCO は、転送注文のために検証された属性を在庫管理に送信します。

在庫管理は、新しい属性を使用して転送注文を更新します。

D. SCO は転送オーダーのために検証された属性を在庫管理に送信します。

SCO は、インポートされていないプロジェクト属性のデフォルト値を取得します。

SCO はプロジェクト会計トランザクション制御 (PATC) を実行します。

在庫管理は、新しい属性を使用して転送注文を更新します。

Answer: C (メッセージを残す)

これは、ファイルベースのデータ インポート テンプレートを使用して転送オーダーのプロジェクト属性を更新するプロセスの正しい順序です。転送オーダーは、企業内の倉庫間での資材の移動を開始する文書です¹。プロジェクト属性は、各転送オーダー明細のプロジェクト、タスク、および支出タイプを識別する情報です²。ファイルベースのデータ インポート テンプレートを使用して転送オーダーのプロジェクト属性を更新するには、次の手順に従います³。

* SCOは、インポートされていないプロジェクト属性のデフォルト値を取得します。サプライチェーン オークストレーション (SCO)は、販売注文、計画推奨、在庫補充など、様々なソースからの供給要求の履行をオークストレーションするサービスです。SCOは、ファイルベースのデータ インポート テンプレートからインポートされていないプロジェクト属性のデフォルト値を取得します。これらのデフォルト値は、「供給注文のデフォルト設定および拡充ルールの管理」タスクで設定したプロジェクトのデフォルト設定および拡充ルールから取得されます。

* SCOはプロジェクト会計取引管理 (PATC)を実行します。SCOは、「プロジェクト取引ソースの管理」タスクで定義したプロジェクト会計取引管理 (PATC)ルールに基づいて、プロジェクト属性の検証を実行します。PATCルールは、各転送オーダー明細のプロジェクト属性が有効かつ一貫しているかどうかを判断します。プロジェクト属性が検証に合格した場合、SCOはそれらを転送オーダー作成のために在庫管理に送信します。プロジェクト属性が検証に不合格の場合、SCOはそれらを拒否し、サプライチェーンオークストレーションインターフェーステーブルにエラーを記録します。

* SCOは検証済みの属性を転送オーダー作成のために在庫管理に送信します。SCOは、検証済みのプロジェクト属性とその他の転送オーダー情報を、転送オーダー作成のために在庫管理に送信します。在庫管理は、倉庫内および倉庫間の資材の流れを管理するサービスです。在庫管理は、SCOから受信した情報に基づいて転送オーダーを作成し、一意の文書番号を割り当てます。

* 在庫管理は、新しい属性で転送オーダーを更新します。在庫管理は、ファイルベースのデータ インポート テンプレートからインポートされた新しいプロジェクト属性で転送オーダーを更新します。

在庫管理作業領域の転送オーダーの管理ページで、転送オーダー明細の更新されたプロジェクト属性を表示できます。

:

転送注文

プロジェクト属性

ファイルベースのデータインポートを使用して転送オーダーのプロジェクト属性を更新する

[サプライチェーンオーケストレーション]

[供給注文のデフォルトと強化ルールの管理]

[プロジェクト取引ソースの管理]

[サプライチェーンオーケストレーションインターフェース]

[在庫管理]

[転送注文の作成]

[転送注文の管理]

最新問題: 43

あなたの会社では、Order Management Cloud の単一のオーケストレーション プロセスに割り当てられた異なるカテゴリを持つフルフィルメント ラインに対して、異なるステータス条件を定義したいと考えています。

この要件を満たすには、どの2つの構成を実行しますか? (2つ選択してください)。

- A. カテゴリごとにフルフィルメント ライン ステータス ルール セットを定義します。
- B. カテゴリごとに一意のステップを作成し、異なる 「次の予想されるタスク ステータス」を割り当てます。
- C. 各カテゴリのオーケストレーション プロセスのステータス値を定義します。
- D. ステータス カタログをオーケストレーション プロセスに割り当てます。

Answer: C,D (メッセージを残す)

オーケストレーション プロセスは、単一の注文内での物理的な商品とアクティビティのオーケストレーションを調整し、フルフィルメント システム間の注文オーケストレーションを自動化する、事前定義されたビジネス プロセスです。

最新問題: 44

会社の倉庫管理者は、ピッキング確認前に在庫に物理的な不一致がある場合に、割り当てられた資材を処理し、販売注文明細をバックオーダーするために手動介入を希望していません。

倉庫管理者は、手動ピッキングを実施し、その後、手動介入なしでピッキングされた数量に基づいて自動出荷確認を実行したいと考えています。

この要件を満たす正しい出荷構成は何ですか?

- A. 自動ピッキング確認を無効にし、出荷の作成」チェックボックスをオフにして、出荷確認プロセスをスケジュールします。
- B. 自動ピッキング確認を無効にし、ピッキング ウェーブ リリース ルールで [出荷の作成] チェック ボックスをオンにします。
- C. 自動ピッキング確認を無効にし、出荷の作成」チェックボックスをオンにして、出荷確認プロセスをスケジュールします。
- D. 自動確認ピッキングを無効にし、出荷の作成」チェックボックスをオフにして、出荷の作成プロセスをスケジュールします。

Answer: A (メッセージを残す)

最新問題: 45

ある会社は、インドにある唯一の工場ユニットで工業用水フィルターを製造し、出荷しています。

リードタイム約束モードで約束ルールを作成するために会社が使用できる 4 つのリードタイムの種類はどれですか？

- A. サプライヤーのリードタイム
- B. 輸送リードタイム
- C. 合計リードタイム
- D. 処理リードタイム
- E. ユーザー定義のリードタイム
- F. 累積製造リードタイム
- G. 累計リードタイム

Answer: B,D,E,F (メッセージを残す)

Oracle Order Management CloudのOrder to Cashは、リードタイム納期回答モード1で納期回答ルールを作成するために使用できる4種類のリードタイムをサポートしています。これらは以下のとおりです。

- * 輸送リードタイム: 商品を発送元から発送先まで発送するのに必要な時間。
- * 処理リードタイム: 商品を出荷する前に出荷元で処理するのに必要な時間。
- * ユーザー定義のリードタイム: 品質検査、梱包、通関など、特定の目的のために定義できる時間。
- * 累積製造リードタイム: 原材料または部品から商品を製造するのに必要な合計時間。

:

リードタイムベースの約束モードが約束を決定する方法

最新問題: 46

農業機械のグローバル大手である貴社は、米国、欧州、中国に製造工場と配送センターを構え、見込生産型の高流動製品、オンデマンド組立製品、そして複雑な構成の製品など、幅広い製品を取り扱っています。同社はOracle Cloud Order Managementを導入しており、クラ

ウドGlobal Order Promisingを通じて実現可能な様々な納期回答方式を自社製品に評価したいと考えています。

同社の製品にとって、GOP を通じて実現可能な有望なモードはどれですか (3 つ選択してください)。

- A. リードタイム
- B. 無限の利用可能性
- C. グローバルな可用性
- D. ゾーンベースの可用性
- E. サプライチェーンの可用性

Answer: A,B,E (メッセージを残す)

[https://docs.oracle.com/en/cloud/saas/supply-chain-management/r13-](https://docs.oracle.com/en/cloud/saas/supply-chain-management/r13-update17d/fascp/manage-order-promise-rules.html#FASCP1127104)

[update17d/fascp/manage-order-promise-rules.html#FASCP1127104](https://docs.oracle.com/en/cloud/saas/supply-chain-management/r13-update17d/fascp/manage-order-promise-rules.html#FASCP1127104) ATPルール
の納期回答モード：説明納期回答可能 (ATP) ルールの納期回答モードは、ATP結果を決定する際に
オーダー納期回答ロジックが評価する属性セットを決定します。ATPルールの管理」ページ
でATPルールを作成する際は、まず、3つの納期回答モードのうち、どのATPルールに適用
できるかを指定する必要があります。

有望な 3 つのモードは次のとおりです。

サプライチェーンの可用性検索

リードタイムベース

無限の可用性に基づく

有効な **1z0-1077-25** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい 1z0-1077-25
試験問題集！ GoShiken.com が最新の **1z0-1077-25** 試験問題集を提供しています。
GoShiken.com 1z0-1077-25 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の
GoShiken.com 1z0-1077-25 問題集をゲットする人はこちら：

<https://www.goshiken.com/Oracle/1z0-1077-25-mondaishu.html> (**15230%OFF**問題集溶
と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 47

管理会計に関する次の 3 つの記述のうち正しいものはどれですか。

- A. コスト計算方法は、個々の項目に至るまで細かく定義できます。
- B. コスト組織には、プライマリ元帳に関連付けられたプライマリ コスト ブックは必要ありません。
- C. サプライ チェーン オーケストレーションは、サプライの作成が開始されると、ユーザー定義のサブリーダー会計ルールに基づいて適切なプロセスを自動的に選択します。
- D. Landed Cost Management により、組織は拡張サプライ チェーンのコストを財務的に可視化できます。

E. 領収書会計は、あらゆる種類の領収書に対して発生主義会計を実行するアプリケーションです。

Answer: A,C,D (メッセージを残す)

* A は正解です。原価法は在庫と売上原価を評価する方法です。原価法は、品目カテゴリ、品目、ロットなど、さまざまな粒度レベルで定義できます。これにより、原価計算の柔軟性と精度が向上します。

* Bは不正解です。原価組織は、主要元帳に関連付けられた主要原価帳簿を持たなければなりません。原価帳簿とは、在庫取引の会計処理方法を決定する原価会計方針と評価構造のセットです。原価組織は複数の原価帳簿を持つことができますが、そのうちの1つは主要原価帳簿である必要があります。

* C が正解です。サプライチェーン オーケストレーションは、複数のソースとシステムにまたがる販売注文の履行を調整 実行するアプリケーションです。サプライチェーン オーケストレーションは、供給の作成が開始されると、ユーザー定義の補助元帳会計ルールに基づいて適切なオーケストレーションプロセスを自動的に選択します。補助元帳会計ルールは、取引が総勘定元帳にどのように計上されるかを定義します。3

* D は正解です。Landed Cost Management は、組織がサプライヤーからの品目の調達に関連する実際のコストを把握、追跡、配分できるようにするアプリケーションです。Landed Cost には、購入価格だけでなく、運賃、保険料、税金、関税などのその他の費用も含まれます。Landed Cost Management は、組織に広範なサプライチェーンコストの財務的可視性を提供し、調達と価格設定の意思決定の最適化を支援します。

* Eは不正解です。Receipt Accountingは、すべての種類の受領に対して発生主義会計を実行するアプリケーションではありません。Receipt Accountingは、発注受領、仕入先返品取引、在庫調整に対して発生主義会計を実行するアプリケーションです。販売注文受領などの他の種類の受領は、Receivablesなどの他のアプリケーションで会計処理されます。

:

1: 原価計算方法2: 原価組織と原価帳簿3: サプライチェーンオーケストレーション : 着地原価管理 : 受領会計

最新問題: 48

組織では、拡張可能フレックスフィールド値を販売注文承認ルールに含める必要があります。

販売注文の承認ルールで拡張可能フレックスフィールド属性の使用をサポートする3つの注文エンティティはどれですか。

- A. プロセス
- B. ヘッダー
- C. 配達
- D. 行
- E. フルフィルメントライン

Answer: (解答を表示する)

拡張可能フレックスフィールド属性は、ビジネスニーズに固有の追加情報を取得するためにオーダー管理エンティティに追加できるカスタム属性です。これらの属性を販売オーダーの承認ルールで使用することで、属性値に基づいて条件とアクションを定義できます。販売オーダーの承認ルールで拡張可能フレックスフィールド属性の使用をサポートするオーダー・エンティティは、ヘッダー、明細、および履行明細です。これらのエンティティには、設定および保守作業領域で構成および展開できる事前定義された拡張可能フレックスフィールド・カテゴリがあります。また、オーダー管理作業領域でこれらの属性にアクセスして更新することもできます。

：
注文管理における拡張フレックスフィールドの使用の概要
注文管理における拡張フレックスフィールドの設定
Oracle Order Management Cloud - 拡張機能

最新問題: 49

お客様から販売注文の詳細をメールアドレスに送信するよう依頼がありました。Order Management Cloud では、メール内の注文内容はどのようにフォーマットされますか？

- A. 注文管理では、注文の詳細が添付の PDF (Portable Document Format) に含まれます。
- B. 注文管理では、電子メールの本文に注文の詳細が含まれます。
- C. 注文管理では、電子メールの本文に注文の詳細が記載された Web ページへのリンクが含まれます。
- D. 注文の詳細を電子メールで送信することはできません。
- E. 注文管理では、添付の Word 文書に注文の詳細が含まれます。

Answer: A (メッセージを残す)

Valid 1z0-1077-25 Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing 1z0-1077-25 Exam! GoShiken.com now offer the **newest 1z0-1077-25 exam dumps**, the GoShiken.com 1z0-1077-25 exam **questions have been updated and answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com 1z0-1077-25 dumps with Test Engine here: <https://www.goshiken.com/Oracle/1z0-1077-25-mondaishu.html> (152 Q&As Dumps, **30%OFF Special Discount: Freepdfdumps**)